

# 【注意喚起】実在する病院長を騙る「なりすまし詐欺電話」が多発しています

現在、北勢地区において、実在する病院の名前を使った悪質な詐欺電話が発生しています。会員のみなさまは、十分にご注意ください。

## 詐欺の主な手口・流れ

1. **最初の接触(甘い話でのアプローチ)** 実在する病院の「院長」を名乗る人物から電話が入ります。

「病院の内装や外壁塗装工事を予定しているの、施工業者を探している。もし御社が無理なら、他の業者を紹介してほしい」※このように、仕事の発注を装って信用させたり、紹介者を巻き込もうとしたりします。

2. **信用の獲得** 電話口で具体的な「契約日」などを決め、本当に仕事がもらえるかのように錯覚させます。
3. **金銭の要求(本丸)** 契約直前になり、以下のような理由をつけて急に現金の振り込みや融通を要求してきます。
  - 「急ぎで消毒液が必要になった。手配できないか？」
  - 「手配が難しいなら、一時的にお金を貸してほしい」

## 被害に遭わないための対策

- **まずは事実確認を** その場ですぐに約束や契約をせず、一度電話を切り、お調べになった病院の公式代表番号へかけ直して「本当にそのような工事の募集や、院長からの連絡があったか」を確認してください。(※相手から言われた電話番号には絶対にかかけ直さないでください)
- 「お金を貸して」「振り込んで」は 100%詐欺 見ず知らずの取引前相手から、急な金銭の要求があった場合は間違いなく詐欺です。絶対に無視してください。
- **周囲への相談** 不審な電話があった場合は、すぐに警察(警察相談専用電話: #9110)へご相談ください。

不審な電話は「まず疑う」「確認する」「相談する」を徹底しましょう！